Kouseikai

刀季

2018.9.15

vol. 41

Shiki

- P2~4 光生会病院 医師紹介
- P5.6 赤岩病院 医師紹介
- **PZ** 赤岩荘 医師紹介
- MLPクリニック マウス同所性肝移植の免疫反応における MHC class I 抗原と既存抗体(DSA)の 意義に関する実験的研究
- [介護老人保健施設 赤岩荘] ロ腔機能向上加算・口腔体操について
- PIII 光生会病院からのお知らせ





光生会病院 医師紹介

総合内科



理事長 市川 朝洋

【略歴】

昭和50 慈恵会医科大学卒 豊橋市民病院

昭和55 名古屋大学大学院医学研究科卒 名古屋大学附属病院 第2内科

昭和57 光生会病院 理事長就任

【所属学会・認定等】

医学博士

日本内科学会 認定医

日本消化器内視鏡学会 専門医

日本消化器病学会 専門医

日本消化器がん検診学会 認定医

日本人間ドッグ学会 認定医

日本医師会 認定産業医

認知症サポート医



副院長 総合診療部長 山口 俊介

【略歴】

昭和60 自治医科大学医学部卒 名古屋第一赤十字病院

平成 6 厚生連加茂病院 医長

平成10 名古屋大学大学院卒 犬山中央病院

平成13 三菱名古屋病院 外科部長

平成23 光生会病院 副院長 兼 総合診療部長就任

【所属学会・認定等】

医学博士

日本外科学会 認定医

日本消化器外科学会 認定医

検診マンモグラフィ読影認定医

日本緩和学会

日本臨床腫瘍学会

認知症サポート医

消化器内科



消化器内科部長 赤澤 知行

【略歴】

平成14 名古屋大学医学部卒 東海中央病院

平成19 光生会病院

光生会病院 消化器内科医長就任

平成23 光生会病院 消化器内科部長就任

【所属学会・認定等】

日本内科学会 認定医

日本胆道学会

日本消化器病学会

呼吸器内科



呼吸器内科部長 平野 恒和

【略歴】

昭和62 山口大学医学部卒

豊橋市民病院 内科

平成 3 名古屋大学附属病院

第2内科(2年間)

平成10 光生会病院

光生会病院 医局長就任

平成23 光生会病院 呼吸器内科部長就任

【所属学会・認定等】

日本医師会 認定産業医







院長 金子 哲也

【略歴】

昭和56 自治医科大学医学部卒 名古屋第2赤十字病院

昭和63 新城市民病院 外科医長

平成 3 名古屋大学医学部大学院

平成 7 名古屋大学医学部附属病院

平成15 名古屋大学医学部附属病院 講師

平成17 東海中央病院 外科部長

平成19 光生会病院 院長就任

【所属学会・認定等】

医学博士

日本外科学会 指導医·専門医

日本消化器外科学会 指導医・専門医・評議員

日本超音波医学会 指導医·専門医

日本消化器病学会 専門医

日本肝臓学会 専門医

日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医

日本がん治療認定医機構 認定医

日本医師会 認定産業医



^{外科部長} 池田 匡宏

【略歴

平成16 藤田保健衛生大学 医学部卒 藤田保健衛生大学病院 研修医

平成18 藤田保健衛生大学 医学部助手

平成19 さいたま市立病院 外科医員

平成20 藤田保健衛生大学 医学部助教 平成21 光生会病院

平成23 光生会病院 外科部長就任

平成27 坂文種報徳會病院 外科局員

平成28 光生会病院 外科部長

【所属学会・認定等】

医学博士

日本外科学会 専門医

日本消化器外科学会·専門医

日本消化器病学会

日本消化器内視鏡学会

日本肝胆膵外科学会

消化器がん外科治療認定医

4

BIRE

副院長 整形外科部長 米川 正洋

【略歴】

平成 2 福井医科大学医学部卒

平成10 名古屋大学医学部附属病院

平成12 県立愛知病院

(現愛知県がんセンター愛知病院)

平成18 愛知県がんセンター愛知病院 整形外科部長

平成19 光生会病院 第1整形外科部長就任

平成23 光生会病院 副院長就任

【所属学会・認定等】

医学博士

日本整形外科学会 専門医 日本整形外科学会 脊椎脊髄病医 認定運動器リハビリテーション医 認定リウマチ医

先端画像センター長 放射線科部長 **遠山 淳子**

【略歴】

昭和54 名古屋市立大学医学部卒

昭和54 名古屋市立大学医学部放射線科

昭和59 名古屋市立城北病院放射線科 副部長

平成 1 名古屋市立大学医学部放射線科 講師

平成 3 名古屋第二赤十字病院放射線科 副部長

平成 6 名古屋市立大学病院放射線科 講師

平成13 名古屋市立緑市民病院放射線科 部長

平成14 名古屋市立大学医学部量子放射線医学 講師

平成19 刈谷豊田総合病院放射線科 管理部長 平成27 光生会病院 先端画像センター

【所属学会・認定等】

医学博士

PET核医学 認定医

日本核医学会 専門医 評議員

日本医学放射線学会 診断専門医 指導医



放射線科部長橋 本 毅

【略歴】

平成12 川崎医科大学医学部卒

平成12 川崎医科人子医学部学 平成12 東海大学医学部附属病院

付属八王子病院にて研修 平成17 東海大学医学部 画像診断学助手

平成19 平塚市民病院 放射線科 医長

平成19 平塚川民病院 放射線科 医长平成21 東海大学医学部 画像診断学 助教

平成24 光生会病院 先端画像センター 光生会病院 放射線科 部長就任

【所属学会・認定等】

日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本インターベンショナル学会専門医・教育委員 Cardiovascular and Inteventional Radiological Society of Europe Member,





眼科 白井 正一郎

【略歴】

昭和45 信州大学医学部卒

昭和45 豊川市民病院

昭和46 名古屋市立大学医学部眼科学教室

昭和55 名古屋市立城北病院 眼科部長

昭和56 名古屋市立大学医学部眼科学教室 助教授

平成10 豊橋市民病院眼科部長

平成14~平成22名古屋大学医学部医学科臨床教授(眼科学)

平成17 豊橋市民病院副院長兼眼科部長・ 手術センター長・医療安全管理室室長

平成23 豊橋市民病院医療安全管理室顧問

平成28 眼科池田クリニック

平成30 光生会病院 副院長兼眼科部長

【所属学会・認定等】

医学博士

日本眼科学会 名誉会員·専門医

日本眼科医会 顧問

日本小児眼科学会 監事

日本眼科病理研究会 世話人

日本網膜硝子体学会

「現代医学」編集委員

総合健診センター



赤岩病院 山野井 純子

【略歴】

昭和43 東京女子医科大学卒

昭和52 豊橋市民病院

昭和57 国立豊橋病院

平成 2 瀬尾病院

平成 7 光生会病院

平成23 赤岩病院就任

【所属学会・認定等】

日本産婦人科学会 専門医

優生保護法 指定医

ケアマネージャー

日本医師会 認定産業医



総合健診センター センター長 大村 信正

【略歴】

昭和58 私立福岡大学医学部卒

平成11 兒嶋病院 診療部長

平成12 医療法人春水会山鹿中央病院 総合診療部長

平成21 上天草市立上天草総合病院 健康管理センター長

平成27 医療法人湘和会 湘南記念病院 健診センター長

平成29 光生会病院 健診センター長

【所属学会・認定等】

日本医師会認定産業医 日本内科学会 総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器専門医



総合健診センター 川合 正行

【略歴】

昭和53 名古屋大学医学部卒 名古屋掖済会病院

昭和54 耳原総合病院

昭和60 名古屋大学医学部附属病院

昭和62 袋井市民病院 手術室部長

平成 5 岐阜社会保険病院 血管外科部長

平成15 新生会第一病院 外科部長

平成25 光生会病院

【所属学会・認定等】

日本外科学会 認定医



総合健診センター 小松 義直

【略歴】

平成 6 名古屋大学医学部卒 岡崎市立岡崎市民病院

平成 8 愛知厚生連海南病院

平成13 社会福祉法人聖霊病院

平成14 名古屋大学医学部附属病院

平成15 国立東名古屋病院

名古屋大学医学部附属病院 平成17 愛知厚生連渥美病院

平成26 光生会病院

【所属学会・認定等】

医学博士

日本外科学会 専門医

日本消化器外科学会 指導医·専門医

日本がん治療認定医機構 認定医

麻酔科標榜医



赤岩病院 医師紹介





院長 市川 雅洋

【略歴】

昭和54 東京慈恵会医科大学医学部卒業 豊橋市民病院

昭和56 光生会病院

平成17 赤岩病院 院長就任

【所属学会・認定等】

日本医師会 認定産業医



^{副院長} 佐藤 元彦

【略歴】

昭和60 藤田保健衛生大学医学部卒業 藤田保健衛生大学病院

平成 3 国立療養所中部病院

平成 5 藤田保健衛生大学医学部

平成16 豊橋元町病院

平成17 岡崎三田病院

平成26 赤岩病院

【所属学会・認定等】

医学博士

日本医師会 認定産業医



廣田 直敷

【略歴】

昭和62 産業医科大学医学部卒業 岡山大学大学院医学研究科 岡山赤十字病院

平成 2 真備中央病院

平成 3 米国ハーバード大学大学院

平成 5 トヨタ自動車安全衛生管理部専属産業医

平成 7 トヨタ記念病院

平成25 トヨタ自動車健康支援センター

平成27 赤岩病院

京都大学大学院非常勤講師

【所属学会・認定等】

医学博士

国際保健学修士

産業医学修士

労働衛生コンサルタント

日本渡航医学会

日本老年医学会



楠戸何生哉

【略歴】

昭和60 藤田保健衛生大学医学部卒業 藤田保健衛生大学病院

昭和62 静岡赤十字病院

平成 1 藤田保健衛生大学病院

平成 4 海南病院

平成 5 藤田保健衛生大学病院

平成 6 豊橋中央病院

平成14 赤岩病院

【所属学会・認定等】



藤堂 史男

【略歴】

平成12 帝京大学医学部卒業

平成13 総合病院南生協病院(内科初期研修)

平成14 北医原生協北メンタルクリニック(精神科初期研修) 総合病院南生協病院(麻酔科初期研修) 南医療生協子ども診療所(小児科初期研修) 名南病院(糖尿病・内科全般・在宅診療等)

平成24 老健太陽の森 施設長(現嘱託産業医)

平成27 赤岩病院

【所属学会・認定等】

日本医師会 認定産業医 日本糖尿病学会



赤岩病院 医師紹介



松井 直樹

【略歴】

昭和62 浜松医科大学医学部卒業 浜松医科大学医学部附属病院

昭和63 遠州総合病院

平成 2 浜松医科大学医学部附属病院

平成 3 東京大学医学部附属病院

平成 5 埼玉医科大学総合医療センター

平成 7 浜松医科大学医学部附属病院

平成 8 東栄町国民健康保険東栄病院

平成13 静岡広野病院

平成17 白梅豊岡病院

平成18 磐田市立総合病院

平成25 赤岩病院

平成27 岡崎市民病院

平成29 赤岩病院

【所属学会・認定等】

日本外科学会 専門医 日本消化器外科学会 認定医

日本救急医学会 専門医



石原 一義

【啦麻

平成13 昭和大学医学部卒業 昭和大学病院

平成14 豊橋市民病院

平成15 寿光会中央病院

平成17 駿河西病院

平成18 掛川北病院

平成21 浜松南病院

平成24 掛川北病院

平成27 老健桔梗の丘

平成29 赤岩病院

【所属学会・認定等】



香川幹

【略歴】

平成16 東北大学医学部卒業

平成17 東海中央病院

平成19 藤田保健衛生大学(助教)

平成30 赤岩病院

【所属学会・認定等】

医学博士

高砂子 由佳子

【略歴】

平成 5 埼玉医科大学医学部卒業 埼玉医科大学病院

平成 6 大阪大学医学部附属病院

平成 8 埼玉医科大学病院

平成21 成城木下病院

平成22 新座志木中央総合病院

平成23 赤岩病院

【所属学会・認定等】

日本内科学会 認定医







施設長 玉木 昌子

利用者様が安心して適切な治療が 受けられるよう力を尽くして参ります。

【略歴】

平成12年 鳥取大学医学部卒業

平成14年 大阪府済生会吹田病院研修医

平成16年4月 同病院内科医

平成19年4月 光生会赤岩病院 内科医

平成30年6月 介護老人保健施設赤岩荘 施設長

【所属学会・認定等】

平成18年 日本医師会認定産業医 平成19年 日本内科学会 認定内科医

平成27年 日本内科学会 総合内科専門医

平成30年6月1日から赤岩荘の施設長に就任させていただきました。5月までは赤岩病院では内科医として約十年勤務しておりました。育児をしながらの勤務でしたが、皆様のご協力のおかげで勤務を継続することができました。老人保健施設については皆様ご存じと思いますが、他の施設との違いについてご紹介させて頂きます。 老人保健施設は基本的に病院と自宅をつなぐ役割の施設です。リハビリを中心とした介護保険の施設になります。持病のある方や要介護状態の方が入所されており、通所リハビリテーション(デイケア)には多くの方に利用頂いています。医療行為の必要な方には介護保険の範囲内での治療も行っています。治療が必要な方には光生会病院や赤岩病院との連携があります。

4月に介護保険法の改正があり、医師の関わりが多くなってきました。リハビリへの関わりや投薬の調整、地域の 病院や診療所との連携もさらに必要となってきています。 利用者様が安心して自宅に戻られる、あるいは適切な治 療が受けられるよう、力を尽くして参りますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



介護老人保健施設赤岩荘とは



介護老人保健施設は、要介護高齢者の自宅復帰を目指すため、医師による医学的管理の下、看護・介護を 提供する施設です。さらに作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーションを提供しています。介護 老人保健施設赤岩荘は在宅支援・在宅復帰施設として以下のサービスをご利用できます。

通 所 リハビリテーション

ショートステイ

訪 問 リハビリテーション

包括支援センター

入所

ケアプランセンター

何かご不明な点があれば赤岩荘までご連絡ください!!

今回は赤岩病院、香川先生の研究を紹介させていただきます。

マウス同所性肝移植の免疫反応におけるMHC class I 抗原と 既存抗体(DSA)の意義に関する実験的研究

赤岩病院 香川 幹

拒絶反応の主体は主要組織適合抗原複合体(MHC)を標的とする免疫反応であるが、同時にMHCは抗原提示や免疫抑制作用により拒絶反応を制御するなど多面的な作用を有しており、移植免疫における意義はいまだ解明されていない。一方近年、レシピエントにおける抗ドナー MHC抗原特異的な既存抗体(donorspecific antibody: DSA)の存在が注目され、移植臓器の短期的及び長期的な生着を規定していることが明らかとなり、今後の移植医療の重要な課題の一つとなっている。

本研究では、これまで不明であった肝移植におけるMHCクラスIの果たす役割と肝移植におけるDSAの意義を明らかにするために、MHCクラスI欠損マウスを用いた肝移植の実験的研究を行った。

【実験】

aマウス

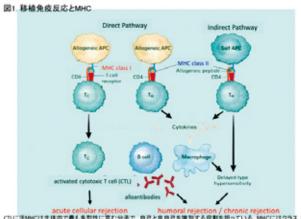
本研究に使用したマウスは、OMLTのドナー及び 皮膚前感作用としてB6 129- Tap1tm1Arp(H-2Kb) (以下TAP1-/-)及びコントロールマウスとしてB6 129SF2/J(以下TAP1+/+)を、レシピエントとして C3H/Heを使用した。

b.マウス同所性肝移植の手技

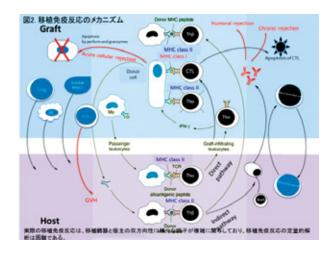
OMLTの手術手技は、Kamadaのラット同所性肝移植の手技に準じて独自に開発した手技で行った。 SHIVCの再建を針付10-0 nylonの連続縫合で行い、 PV ,IHIVCをカフ法で胆管をステント法で行った。 全ての手術操作は顕微鏡下に行った。動脈再建は行わず、免疫抑制剤は使用しなかった。

c.皮膚移植

皮膚移植片は、ドナー背部の皮膚を1cm×1cmに切り取ったのち、皮膚脂肪層を取り除いたものを使用した。レシピエントは表皮のみを取り除き、温存した皮膚脂肪層の上にドナー皮膚を置き、皮膚移植片が動かないようにテープで固定した。前感作用の皮膚移植は肝移植の14日前に実施した。



CILI活MHOは生体内で最も多型性に富む分子で、自己と非自己を確別する役割を担っている。MHOにはクラス Iと クラス II があり、クラス I は全ての有利機能と血小板膜上上角発は、直接特別によりCOB T機能を性化し、急性機能 性距絶反応を引き起こす。クラス II は結果提示機能機上に存在し、整接経路によりCOB T機能をヘルパーT機能に 当性化し、主にサイトカイン産生を介してアロ核体を産生し渡性原族や単性原純に関与する。



(1)OMLTにおけるMHCクラス I 分子の役割の検討

MHCクラス | 欠損マウス(TAP1-/-; H-2b)及びコントロールマウス(TAP1+/+; H-2b)をドナーとし、レシピエントはC3H/He(H-2k)としてOMLTを行い、各群の生存期間を比較した。また、C3H/Heをドナーとし、TAP1-/-,TAP1+/+をレシピエントとしたOMLTを行った。

(2)皮膚移植による前感作後の肝移植モデルを用いたDSAの意義に関する研究

皮膚移植による前感作後に肝移植を行い、肝移植におけるDSAの意義を確認するため以下の実験群を設定した。

- (I)ドナーはTAP1+/+、レシピエントはC3H/HeにTAP1+/+で皮膚前感作を行った群
- (II)ドナーはTAP1-/-、レシピエントはC3H/HeにTAP1+/+で皮膚前感作を行った群
- (Ⅲ)ドナーはTAP1+/+、レシピエントはC3H/HeにTAP1-/-で皮膚前感作を行った群
- (IV)ドナーはTAP1-/-、レシピエントはC3H/HeにTAP1-/-で皮膚前感作を行った群の4群で行った。

【結果】

(1)OMLTにおけるMHCクラス I 分子の役割

MHCクラス | 欠損マウスをドナーとした時のみ、レシピエントの生存期間は平均34.3日と有意に短縮し、その他の組み合わせでは100日以上と長期生存した。

(2)MHCクラスI欠損マウスを用いた皮膚前感作モデルによるDSAの意義

TAP1+/+をドナーとした場合、皮膚感作を行わない場合が最も生存期間が長く、ついでTAP1-/-による皮膚 前感作を行った場合は99.1日、TAP1+/+による皮膚感作後の平均生存期間が9.3日と最も短縮した。TAP1-/-をドナーとした場合、どれも短い生存期間であったが、TAP1+/+による皮膚感作を行うと、平均生存期間 は17日でTAP1-/-による皮膚感作例よりも有意に延長した。

表 1. (1)OMLTにおけるMHCクラス I 分子の役割の検討

	Donor	Recipient	Outcomes	MST
ARF	TAP1"/"	СЗН	66†, 657†, 657†, 781†	540.3*
881	TAP1-	СЗН	13†, 16†, 22†, 23†, 38†, 94†	34.3*.**.1
CBT	СЗН	TAP1**	106°, 153°, 153°, 158†	>100**
DZ	СЗН	TAP1-/-	309*, 349*, 484*	>100 *

a: alive, †: dead *p=0.019, **p=0.008, *p=0.018

表2. (2)皮膚移植による前感作後の肝移植モデルを用いたDSAの意義に関する研究

	Skin	Donor	sensitized Recipient	Outcomes	MST
AW	TAP1*/*	TAP1"/"	СЗН	41,41,71,71,81,141, 161,171,181, 321	9.8*
B群	TAP1-	TAP1*/*	СЗН	43+, 62+, 64+, 70+, 92+, 170+, 193+	99.1*
CBF	TAP1√	TAP1√	СЗН	41,41,41,51,51,51,51,51,51,131,151	6.4**
DRF	TAP1*/*	TAP1	сзн	9+, 10+, 32+	17**

†: dead *p=0.00084, **p=0.042

【考察】

肝移植時のグラフト肝生着において、グラフト内のMHCクラスIが必須であり、レシピエントのMHCクラスIの重要性は低かった。

皮膚前感作によりMHCクラスIIのDSAは、肝移植の危険因子ではないことが示唆された。

移植肝の生着期間は、グラフト肝のMHCクラスIによる免疫抑制作用とDSAによる拒絶反応及び皮膚移植片のMHCクラスI及びクラスIIの移入の程度などの相互作用の総和により規定されていることが示された。

本研究の結果により、肝移植におけるDSA陽性例の治療成績向上につながることが期待される。

介護老人保健施設。赤岩荘

~取り組みについて~

口腔機能向上加算・口腔体操について

目的

口腔機能・嚥下機能が低下している利用者様の機能向上、 低下の恐れのある利用者様の機能低下を予防していく。

口腔機能向上加算とは??

□腔清潔・唾液分泌・咀嚼・嚥下・食事摂取等の□腔機能の低下が認められる状態、または□腔機能が低下する恐れがある利用者に対し、個別で指導・実施を行った場合に取得できる加算です。

口腔機能とは??

食べることや話すことに関わる口の働きのこと。唇・顎・舌・頬・唾液腺などの口腔器官の働きです。これらが上手く働くことで、食物を噛む食べ物を押しつぶす、食べ物を喉まで運ぶ、ハッキリ話す、唾を出して口の清潔を保つといった事ができています。

嚥下機能とは??

食べ物を飲み込む機能のこと。食物が認知され、□腔、咽頭、食道を経て胃に至るまでのすべての過程をいいます。

この機能が低下すると、むせ込みや誤嚥、窒息 に繋がります。重症化すると肺炎になる場合も あります。

どのような方が対象か??

病気や加齢などの理由により口腔機能が低下している方。

例:脳梗塞後遺症で口の動きや飲み込みの能力が低下している方。 パーキンソン病により発話が聞き取りにくくなっている方。

どういった内容を実施するのか??

- ・文章を音読したり、復唱し発声を促す訓練
- ・舌の動きが悪い方に対して舌の動きを促進する運動
- ・嚥下・口腔に関連した頚部、肩等のストレッチetc…



□腔体操

デイケアでは昼食前、入所では夕食前に実施しています。口の体操を行うことにより、嚥下機能促進、誤嚥予防に繋がるため実施しています。



今後も赤岩荘を よろしくお願いします!!



🎍 光生会病院からのお知らせ 🍠



外来待ち時間短縮に ご協力ください

患者様の待ち時間をなるべく短縮できますよう電子カルテ・ 自動再来受付システムなどを導入しております。再診の方はで きるだけ再来機をご利用いただきますようお願いいたします。





各種お支払いについて

光生会病院では便利で確実なカードでのお支払いをお勧めしています。このたび、クレジットカードだけで なく、デビットカードでのお支払いにも対応いたしました。外来診察費、入院費、健康診断などにご利用下さい。 一部使用できないデビットカードもあります。また、入院費は外来棟受付だけなく、病棟3階・4階のナースステー ションでもカードでのお支払いができるようになりました。お気軽にお問い合わせください。

利用できるデビットカード







利用できないデビットカード





など

PET-CT事業終了に関するお知らせ

医療法人 光生会では2007年に東三河初のPET-CT装置を導入して以来、がんの早期発見を目的としたがん検 診等を展開してまいりました。しかしながら、近年の東三河におけるPET-CT検査の情勢を検討した結果、誠に 勝手ながら2018年12月をもちましてPET-CT事業を終了することといたしました。事業終了に伴い、ご不便と ご迷惑をお掛け致しますことを深くお詫び申し上げます。今後も引き続き地域の皆様方のお役に立てますよう、 最新鋭のCT装置とMRI装置等の高度医療機器を中心とした総合健診事業の更なる拡張を進めて参ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

医療法人光生会 光生会病院 先端画像センター

TEL.(0532)61-2262 FAX.(0532)62-2140 メールアドレス info@koseikai-hp.or.jp

ホームページアドレス http://www.koseikai-hp.or.jp メールアドレス(代表)info@koseikai-hp.or.jp TEL(代表) (0532)61-3166



みなさまの輝くいのち、守ります。

年に1度は健診を

~いつもと変わらない

何気ない日常が1日でも長く続くように。~

健診に関するご質問・お問合せは

総合健診センター

〒440-0045 豊橋市吾妻町137 フリーダイヤル.(0120)-613-266 TEL.(0532)61-3000 FAX.(0532)61-2962 メールアドレス kenshin@koseikai-hp.or.jp





〒440-0045 豊橋市吾妻町137

TEL.(0532)61-3166代表 FAX(0532) 69-3635



光生会病院 TEL.(0532)61-3166

総合健診センター TEL.(0120)613-266 **先端画像センター** TEL.(0532)62-2262

消化器内視鏡センター TEL.(0532)61-3166代表

地域医療連携室 TEL.(0532)61-3213



介護老人保健施設 赤岩荘

TEL.(0532)66-1123

グループホーム エバグリーン TEL.(0532)62-4434



赤岩病院 TEL.(0532)62-2105

医療病棟 療養病棟 回復期リハビリテーション病棟

